

総合心理学部総合心理学科 履修系統図

必修科目

学年 科目区分	1年		2年		3年		4年		身につく 知識・能力
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
一般教養科目	英語 I 情報リテラシー I ドイツ語 I フランス語 I 経済学 政治学 日本史A 西洋史A 科学哲学 哲学史A 体育	英語 II 情報リテラシー II ドイツ語 II フランス語 II 法学 経営学 日本史B 西洋史B 哲学史B	英語講読 I 情報リテラシー III	英語講読 II					大学生として必要なレベルアップを身につけると共に、この先の学びの土台を形成する。特に、心理学を学び研究する上で必要な英語力を身につける。
基盤教養科目	人間環境学 心理学概論 こころは数値化できるか	こころとは何か(動物・人間・AI)	科学と人間(科学の可能性と限界)	心理学とキャリア					本学において心理学を学ぶための土台となる知識と視点を身につける。
基盤スキル科目	基礎ゼミナール(初級心理学実習)	心理学研究法 心理学統計法 I	心理学統計法 II 心理学調査実習 心理データ解析法	心理学実験 I	心理学実験 II 心理学英語文献講読 心理学テクニカルライティング	心理学実験計画法 心理調査計画法 心理臨床領域における研究法			心理学を「する」ための様々なスキルを身につける。具体的には、研究法(実験法、調査法)、統計法、データ解析法、英文の学術文献を読み、書くスキル等を修得する。
基盤専門科目	発達心理学	臨床心理学概論 感情・人格心理学	知覚・認知心理学	学習・言語心理学 社会・集団・家族心理学 健康・医療心理学	神経・生理心理学 文化心理学(国際コミュニケーションのために) 産業・組織心理学	進化心理学(こころの由来) 司法・犯罪心理学	教育・学校心理学		心理学には多くの専門領域がある。それぞれにおけるより深い知識と視点を修得する。
高度専門科目	心理学プロゼミナール I	心理学プロゼミナール II	心理学プロゼミナール III 意思決定の科学 ストレス科学 色彩の心理学 消費者の心理学(買う側の心理学) 依存症の心理学	心理学プロゼミナール IV 子どもからおとなへの認知発達(生涯発達心理学 II) マーケティングの心理学(売る側の心理学) バーチャルリアリティの心理学 視覚の心理学 恋愛心理学 アドバンスト心理療法 I(行動療法)	高齢者の世界(生涯発達心理学 III) ポジティブヘルス論(健康生成の心理学) 顔認知とコミュニケーション ギャンブルの心理学 アドバンスト心理療法 II(認知行動療法) 心理学統計法 III	赤ちゃんの世界(生涯発達心理学 I) モチベーションの心理学 マインドフルネスの心理学 心理的アセスメント アドバンスト調査実習(アンケート調査作成の実践) 心理プログラミング	アドバンスト心理療法 III(遊戯・芸術療法) アドバンスト心理療法 IV(精神分析療法)	アドバンスト心理療法 V(人間性心理学)	現代社会の諸問題とリンクする高度な心理学講義であり、興味を持った専門的なトピックを自ら選択し、学びを深める。そのことによって、現代社会に対するより深い理解と、そうした問題に対する心理学的解決を目指す、さらなるモチベーションを高める。
演習科目					総合演習 I	総合演習 II	総合演習 III 卒業論文	総合演習 IV 卒業論文	心理学を研究するプロセスに慣れ親しみ、実際に卒業論文を作成する。知を「学ぶ」のではなく「生み出す」苦しみと楽しさを味わう。
師公認連心理	人体の構造と機能及び疾病	精神疾患とその治療	障害者・障害児心理学 心理学的支援法	福祉心理学	公認心理師の職責	関係行政論 心理演習	心理実習	心理実習	上記の他、公認心理師の受験資格を得るために必要な科目群。専門家に求められる高度な見識を身につける。
学年ごとの人材育成目標	大学生としての基本的な知識と姿勢を身につけ、心理学を専門的に学ぶための土台作りをする。また、大学生として生活するためのリズムをつかむ。		心理学という学問の広さを知り、それに対して貪欲に向かっていくことで味わえる喜びを知る。また、その中で自身より専門的な興味や適性を見極める。同時に、心理学を研究するための基本的なスキルを身につける。		心理学的知識やスキルを身につけるだけでなく、自身の専門的関心を絞り、深めていく。そして、心理学を自身の将来に、また社会に活かせるように、そうした知識とスキルを磨く。		実際に心理学実験や調査を行い、卒業論文を作成するプロセスにおいて経験する挫折と達成感を通して、心理学による人格の完成を目指す。自身の将来をしっかりと見据え、心理学を学んだ者としての自信と誇りを持って卒業する。		